

佐事研だより



佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 会長 井手 和久

～知事部局からの転入職員紹介号～

会員各位

寒に入り寒さが一入身にしみる日々が続いておりますが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。体調を崩されませんよう気をつけてお過ごしください。

さて、今回の佐事研だよりは、今年度、知事部局から転入された 9 名の紹介です。知事部局を経験されてきた方々の体験や、義務制で学びたいことなどについて掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

今回は次のような質問にお答えいただきました。

- ① 名前 ② 所属 ③ 趣味 ④ 知事部局での担当業務
- ⑤ 知事部局勤務のとき、言われて一番うれしかったひと言は何ですか？
- ⑥ 義務制での 3 年間で学びたいことは何ですか？

- ① 秋山 義貴（あきやま よしたか） ② 佐賀市立成章中学校
- ③ スポーツ（空手、バレーボール）、車、料理
- ④ 25 年度は主に情報公開・個人情報保護関連の業務を担当し、26・27 年度は県内公益法人の監督業務（定期提出書類の財務等の審査、立入検査等）を担当していました。
- ⑤ 「秋山さんに相談すれば間違いない。」というひと言です。担当法人が 90 法人ほどあり、業務量は膨大でしたが、関連法令・制度・財務等の勉強をし、法人の担当者を覚え、相談等に真摯に応えることで、信頼を得ることができたと感じるひと言でした。
- ⑥ 学校で数少ない行政職員として、教育現場で起きる様々な問題を解決するために必要な企画・立案能力や実行力を養いたいと考えています。また、教育現場で見たものと県の様々な施策をつなぐことを考え、実行することも採用一元化後の職員に求められていることだと思えます。



- ① 稲田 裕満（いなだ ひろみつ）② 鳥栖市立弥生が丘小学校
- ③ 温泉、ギター
- ④ 税政課（旧税務課）の電算担当として、県税事務所が申告書等の入力を行う際に使用する税総合情報システムの維持管理業務（入力エラー時の対処及び納税通知書等帳票の作成）
- ⑤ 税総合情報システムがエラーとなり県税事務所側で入力できないと、納税者への課税及び過誤納金の還付が遅れてしまうため、迅速な対応を行った際に県税事務所職員から「ありがとう」と感謝の言葉をいただいたこと。
- ⑥ 県の給与関係制度及び市の財務規則をしっかりと理解したい。また、施設の修繕や備品の購入の際に、0か100かではなく限られた予算でどこまでなら対応できるかを常に考え、職員や教育委員会と交渉する力を身につけたい。



- ① 今泉 佑一（いまいずみ ゆういち）② 佐賀市立東与賀中学校
- ③ 映画鑑賞、お酒
- ④ 児童・女性保護施設の運営管理・監査、ひとり親家庭への貸付や医療費助成、市町の監査、係全体の進捗管理、全国大会の運営、条例・規則改正、議会対応、新採メンター
- ⑤ 県庁にいと一般の県民の方と直接接する機会はあまりありません。窓口は現地機関または市町になります。なので、現地機関の意見を聞くために勉強会等の機会を増やしました。3月に内示が出た時に「今泉さんが担当で良かった」と言ってもらえた時は嬉しかったです。
- ⑥ 今の制度上、学校事務という大きな現地機関の一つに來たと捉えているので、現地機関ならではの感覚を学びたいです。また、将来県教委に行く可能性もあるので、少しでも学校現場のことが分かるよう、学校・教員・事務室それぞれの良い所・抱える問題を知れたらと思います。



- ① 江口 俊裕（えぐち としひろ）② 有田町立有田小学校
- ③ スノーボード
- ④ 難病患者の医療費助成制度の支給認定事務、ハンセン病問題の啓発
- ⑤ 「きっとあなたはどこに行ってもやっていける」3年目当時の先輩に言われた言葉です。新採から3年間は、とにかく業務量が多くて余裕のない日々でしたが、目の前の仕事を一つ一つこなしていくことが、今後の糧になっていたのだということを実感しました。
- ⑥ 自分以外の、いろんな立場の人がどういう考えを持っているのかを吸収したいです。新採から3年間は本庁舎内での仕事だったため、県民の方と実際に接することはあまりありませんでした。



初めての異動で、学校、しかも小学校という自分にとって全く想像もしなかった場で、先生や保護者や地域、そして子どもたちと日々接しながら仕事をできることは、これから先二度とないことかもしれないかもしれません。学校でしかかかわることのできない人とたくさん話して、考えて、動いて、自分の糧にしていきます。

① 小森 美香（こもり みか） ② 佐賀市立昭栄中学校

③ 展覧会を見に行くこと

④ 文化・スポーツ部文化課に所属。障害のある人もない人も誰もが日常の中で文化芸術を楽しむ社会づくりのため、ステージイベントや展覧会、人材育成のための講演会等を実施。

⑤ 関係者の方に「あなたがずっと担当してくれればいいのに」と言っていたこと。「担当が一番楽しめ！」との上司の言葉を胸に、参加者や関係者と一緒に楽しみながら、自分の表現や発言をしやすい雰囲気や関係づくりができていたこと言っていたのだと思う。

⑥ 文化課でも庶務は少し担当していたが、思っていたより奥深く、大変勉強になっている。細々した仕事にとられがちだが、効率よく進め、自分の仕事だけでなく、学校全体を様々な角度から見るができる心の余裕と広い視野を持ちたい。



① 平間 光治（へいま みつはる） ② 白石町立白石中学校

③ カメラ、ドラム、ギター、ドライブ

④ 介護保険法に基づく事業者の指定・更新等事務、指定事業者の指導・監査、その他介護保険法関係の指定・指導業務。事業所指導は実地での指導が多く、出張が多かったです。

⑤ 異動の時期に、事業者の方から、「平間さんにはもう一年いてほしいです。」と言われたこと。指導監査という、一般的には事業者からは疎まれる存在だと思うが、そうならないよう、できるだけ現場の方の感覚で、かつ対等に、と心がけたのが実を結んだと思います。

⑥ 現場（受け手）になった感覚。県から来る通知等をどう感じるか、実際に受け手側になってみないと分からないと思います。また、給与・手当・税金などのことは今まで興味もなく、給与制度や税制のことは学校事務にならなければ知ることはなかったのではと思います。



① 前川 美紗稀（まえかわ みさき） ② 伊万里市立国見中学校

③ 読書

④ 土地対策課の計画調整担当でした。主に、国土利用計画法第23条に基づく大規模土地売買等届出の審査業務に携わっていました。

⑤ 県民の方からの問い合わせに対応した際、「あなたのところはきちんと説明してくれたので助かりました。ありがとうございました。」というふうなことを言っていたこと。県民の方からの感謝の言葉は、公務員として働いていることを実感できました。

⑥ 義務制にきてみて、柔軟な対応力が必要だと感じています。突発的な仕事が多々ある中、いかに冷静な判断・対応ができるか、効率よく業務ができるかが重要になってくると思うので、日々移り変わる学校現場の状況に対応できる力を学びたいです。



① 峯 達始 (みね たつし) ② 唐津市立外町小学校

③ 映画鑑賞

④ 土地利用計画法に基づく開発許可事務

⑤ 嬉しかったひと言は「峯さんのおかげで、工期内に終わりそうです。ありがとうございました。」です。当該案件が大規模な開発で、必要な関係各課の許認可、協議事項が多く、その調整や開発許可申請書類の指導に苦労しましたが、担当者として相手が満足する仕事をでき嬉しかったです。



⑥ 知事部局にいたときは、都市計画法の開発許可という一つの法律に特化した業務をやっていたので、義務制の3年間では財務やサービスの基本についてなど幅広く様々なことを学びたいと思っています。また、これまで直接市民の方に接することが少なかったため、よい機会だと思っています。

① 米倉 佑夏 (よねくら ゆか)

② 吉野ヶ里町立三田川中学校

③ カフェめぐり、お肉めぐり

④ 資産活用課にて管財関係業務全般をしていました。具体的には公有財産関係例規に関する問い合わせへの対応や、本庁舎管理、不要となった県有地の入札による売却などです。



⑤ とある所属から財産関係の法令解釈に関わる困難な問い合わせがあり、逐条解説や質疑応答集、過去の事例、他県の事例を精査したことで、時間はかかってしまいましたが、解決策が見つかったときに、上司からいただいた「良くやった」のひと言です。

⑥ 義務制のほうでは県費はもちろんのこと、市町ごとに特色のある市費・町費の事務もあり、この両方に携わることができる機会は減多になく、また、業務が多岐にわたるため、臨機応変にこなせる力や、優先順位をつけて迅速に処理する力をつけたいです。

●編集後記●

知事部局からの転入職員紹介はいかがだったでしょうか？皆さんの様々な経験や個性豊かな写真などを拝見しながら、楽しく編集させていただきました。お忙しい中にご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。今後の更なるご活躍を期待しています。

さて、佐事研情報推進部では今後も会員の皆様によりよい情報をお伝えできればと思っていますので、ご意見ご感想等ありましたら、各地区の情報推進部までお願いします。

佐事研情報推進部